

10



eco products awards
2013

第10回

エコプロダクツ大賞

2013.12.12

主催／エコプロダクツ大賞推進協議会 後援／財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省
<http://www.gef.or.jp/ecoproducts/>

持続可能な未来を見つめて

～エコプロダクツで社会を変える～

エコプロダクツ（環境負荷の低減に配慮した製品・サービス）が社会に広く受け入れられ、私たちの暮らしの中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国には、今後、エコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。またその中では、具体的に環境配慮が盛り込まれることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家さらには市場関係者からも高い評価を受けるエコプロダクツが必要とされています。

一方、一昨年3月に発生した東日本大震災によって、再生可能エネルギーの大幅な活用など、エネルギー政策は大きな転換を迫られました。例えば電力不足を前提とした企業活動や生活行動が求められるなど、エコプロダクツをめぐる情勢は大きく変化し、このような社会要請に対応できるエコプロダクツの早急な開発、普及も求められ、エコプロダクツは新たな局面を迎えています。

エコプロダクツ大賞推進協議会とは

「エコプロダクツ大賞推進協議会」は、エコプロダクツをさらにわが国に普及させるため、具体的にすぐれた環境配慮が組み込まれるとともに、独創性にあふれ、しかも社会的にも評価の高いエコプロダクツを表彰する「エコプロダクツ大賞」の実施などを通じて、わが国におけるエコプロダクツの振興・発展を図ることを目的に、エコプロダクツに関わりの深い民間団体が連携して2004年7月に設立されました。

エコプロダクツ大賞推進協議会の事業内容は

- すぐれたエコプロダクツを顕彰する「エコプロダクツ大賞」の実施
- エコプロダクツ大賞を受賞した製品・サービスの普及促進を図るための広報活動
- その他、推進協議会の目的を達成するために必要な活動

エコプロダクツ大賞推進協議会の会員は

エコプロダクツ大賞推進協議会は、推進協議会の事業目的に賛同する民間団体及び地方公共団体等で構成されます。

なお、2013年12月現在の会員は、

一般財団法人 地球・人間環境フォーラム

一般社団法人 産業環境管理協会

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

一般社団法人 日本有機資源協会の4団体です。

エコプロダクツ大賞推進協議会の役員構成は

会 長 森島 昭夫（名古屋大学名誉教授）

副会長 炭谷 茂（一般財団法人 地球・人間環境フォーラム理事長）

副会長 富澤 龍一（一般社団法人 産業環境管理協会会長）

副会長 与田 俊和（公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団理事長）

副会長 兒玉 徹（一般社団法人 日本有機資源協会会長）（順不同）

目次

第10回 エコプロダクツ大賞について	2
審査委員長講評	4

エコプロダクツ大賞 (関係省大臣賞)

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞 雑草アタック S	5
経済産業大臣賞 省エネ・環境・震災配慮型エレベーター 「SPACEL-GR」「ELCRUISE」	6
国土交通大臣賞 SMA×ECOプロジェクト	7
環境大臣賞 アグロフォレストリーチョコレート (チョコレート効果群を含む)	8
エコサービス部門	
経済産業大臣賞 画像人感センサーを活用した次世代照明制御システム	9
国土交通大臣賞 泡の力で省エネ「空気潤滑システム」搭載船での運航	10
環境大臣賞 近大エコ出願	11

節電大賞 (エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

エコプロダクツ部門	
三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」(Zシリーズ)	12
エコサービス部門	
エコな下水処理場	13

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞 (優秀賞)

エコプロダクツ部門	
高耐食性めっき鋼板「スーパーダイマ®」	14
100%石油外天然資源タイヤ「ダンロップ・エナセーブ100」	14
オフセットサイディング	15
高性能樹脂窓「APW330」	15
エコサービス部門	
オアシス EVシェアリング	16
自然由来の吸着材を用いた水質保全システム「アクアトープ」	16
大分自動車道 エコエリア山田 男性トイレ エコトイレサービス (手洗器一体型小便器)	17
PM2.5のファンストップサービス 微小粒子状物質 (PM2.5) 対応プロジェクト	17

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞 (節電優秀賞)

エコプロダクツ部門	
ピークシフト自販機	18

審査委員長特別賞 (奨励賞)

エコプロダクツ部門	
グッドマン換気口 (パッシブ換気口)	18
フローラル・マット	19
Jパネル	19
エコサービス部門	
コンビエコアクト	20

エコプロダクツ大賞について

1 趣旨・目的

企業等による環境負荷の低減に配慮した製品またはサービス（エコプロダクツ）の開発・製品化への取り組みが広がる一方、エコプロダクツが社会に広く受け入れられ、私たちの生活の中に深く浸透していくことは、社会経済活動を環境配慮型のものへと変革していく大きなきっかけの一つになります。このため持続可能な社会の実現をめざすわが国においては、今後、具体的な環境配慮が盛り込まれていることはもちろん、独創性にあふれ、しかも事業者や消費者、投資家、市場関係者からも高い評価を受ける、すぐれたエコプロダクツがさらに普及していくことが期待されています。

「エコプロダクツ大賞」はこのような状況を背景に、すぐれたエコプロダクツを表彰することによって、それらに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されたものです。

これまで本表彰制度において大賞、優秀賞及び奨励賞を受賞した企業・団体においては、受賞によって受賞製品や企業・団体の知名度や認知度、ブランド価値が高まり、ほとんどの受賞者が受賞結果をパンフレット等に記載したり、広告や営業活動等に積極的に利用しており、本表彰制度がエコプロダクツの普及に大きな役割を果たしたことが明らかとなっています。

前回からは、一昨年3月の東日本大震災の影響によって電力需給がひっ迫したこと等を踏まえ、節電大賞、節電優秀賞を設置しています。

2 募集対象

エコプロダクツ部門は、日本国内においてすでに市場に提供されている製品としました。ただし、応募時点で市場に提供されていない製品であっても、審査開始時に製品の確認ができ、審査結果発表時までに市場に提供されることが確実なものについては応募を受け付けました。

エコサービス部門は、日本国内において応募締切日の時点でサービス提供開始から6ヵ月以上の実績を有するサービスとしました。また、一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、B to Bも対象としました。なお、過去のエコプロダクツ大賞において受賞したものと同一の製品・サービスは対象外としました。

3 表彰部門・賞の種類

① 表彰部門

「エコプロダクツ部門」

環境負荷の低減を目的に、さまざまな技術や手法等を活用するなどして開発され、日本国内市場において製品化（提供）されているもの。

「エコサービス部門」

わが国の社会経済を取り巻く環境問題に対して環境負荷の低減を目的に提供されているサービス、あるいは持続可能なビジネスモデルを創出して環境負荷の低減を図っている新たな環境配慮型のサービスであって、日本市場に導入されているもの。

② 賞の種類

上記の二つの部門に対してそれぞれ、下記のエコプロダクツ大賞（関係省大臣賞）、節電大賞及びエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）、節電優秀賞、審査委員長特別賞（奨励賞）が授与されます（該当がない場合もあります）。

●エコプロダクツ大賞（関係省大臣賞）

- ・財務大臣賞 <賞状、副賞>
- ・厚生労働大臣賞 <賞状、副賞>
- ・農林水産大臣賞 <賞状、副賞>
- ・経済産業大臣賞 <賞状、副賞>
- ・国土交通大臣賞 <賞状、副賞>
- ・環境大臣賞 <賞状、副賞>

●節電大賞 <賞状、副賞>

●エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）〈賞状〉

●エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞（節電優秀賞）〈賞状〉

●審査委員長特別賞（奨励賞）〈賞状〉

4 審査基準

審査は、下記の「審査にあたっての基本的考え方」を踏まえた上、すぐれていると評価されるエコプロダクツ・エコサービスを選考しています。

- 当該エコプロダクツ・エコサービスの導入による環境負荷の低減が明らかなものであること
- 事業者や消費者、投資家、市場関係者等による一定の評価が得られているエコプロダクツ・エコサービスであること
- 利用しようとする者が国内市場において容易に供給やサービスを受けられるエコプロダクツ・エコサービスであること
- 環境教育的効果が認められる等、持続可能な社会づくりへ向けた社会意識の向上に資するエコプロダクツ・エコサービスであること

- 節電大賞・節電優秀賞の選考については、節電量・節電率等も踏まえ、社会的にインパクトがあり、節電に大きく寄与するエコプロダクツ・エコサービスであること

5 審査方法

応募案件は、予備選考を行った後、エコプロダクツ大賞推進協議会に設置した審査委員会の審査を経て最終決定されます。

審査委員

委員長	石谷 久	東京大学名誉教授
委員	大熊 一寛	環境省総合環境政策局環境経済課長
	木内 岳志	農林水産省大臣官房環境政策課長
	小見山康二	経済産業省産業技術環境局環境調和産業推進室長
	城 克文	厚生労働省医政局経済課長
	須賀 唯知	東京大学工学系研究科教授(精密機械工学専攻)
	辰巳 菊子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問
	藤村コノエ	NPO法人環境文明21共同代表
	星屋 和彦	国税庁課税部酒税課長
	椋田 哲史	一般社団法人日本経済団体連合会常務理事
	山本 博之	国土交通省総合政策局環境政策課長
	山本 良一	東京大学名誉教授

(委員長を除く氏名の五十音順)

応募状況・審査結果

エコプロダクツ大賞は、「エコプロダクツ部門」と「エコサービス部門」で構成されますが、今回の大賞では「エコプロダクツ部門」76件、「エコサービス部門」16件のあわせて92件の応募がありました。

エコプロダクツ大賞推進協議会内に設置された審査委員会(審査委員長:石谷 久/東京大学名誉教授)における審査の結果、もっともすぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門において農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の4件の大賞が、エコサービス部門において経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞の3件の大賞が、それぞれ決まりました。

一方、節電大賞には両部門において各1件が決まりました。また、大賞に次いですぐれたエコプロダクツとして、エコプロダクツ部門で4件、エコサービス部門で4件が優秀賞に、節電優秀賞としてエコプロダクツ部門で1件が決まりました。

さらに、中小企業からの応募案件を対象にした奨励賞として、エコプロダクツ部門3件、エコサービス部門1件が表彰されることとなりました。

審査結果は右記の通りです。

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

雑草アタック S 日本乾溜工業株式会社

経済産業大臣賞

省エネ・環境・震災配慮型エレベーター「SPACEL-GR」「ELCRUISE」東芝エレベータ株式会社

国土交通大臣賞

SMA×ECOプロジェクト 大和ハウス工業株式会社

環境大臣賞

アグロフォレストリーチョコレート(チョコレート効果群を含む) 株式会社 明治
(以上、関係省大臣賞4件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」(Zシリーズ) 三菱電機株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

高耐食性めっき鋼板「スーパードायマ®」 新日鐵住金株式会社
100%石油外天然資源タイヤ「ダンロップ・エナセーブ100」 住友ゴム工業株式会社

オフセットサイディング

ニチハ株式会社
高性能樹脂窓「APW330」 YKK AP 株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

ピークシフト自販機 日本コカ・コーラ株式会社
(以上、節電優秀賞1件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

グッドマン換気口(パッシブ換気口) 有限会社グッドマン
フローラル・マット 有限会社仲田種苗園
Jパネル 協同組合レングス
(以上、審査委員長特別賞3件)

エコサービス部門

経済産業大臣賞

画像人感センサーを活用した次世代照明制御システム 東芝ライテック株式会社、株式会社東芝

国土交通大臣賞

泡の力で省エネ「空気潤滑システム」搭載船での運航 日本郵船株式会社、株式会社MTI、株式会社大島造船所

環境大臣賞

近大エコ出願 学校法人近畿大学
(以上、関係省大臣賞3件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

エコな下水処理場 山形市上下水道部 浄化センター
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

オアシスEVシェアリング 株式会社オアシスソリューション
自然由来の吸着材を用いた水質保全システム「アクアトープ」 大成建設株式会社、日本植生株式会社
大分自動車道 エコエリア山田 男性トイレ エコトイレサービス(手洗器一体型小便器) 西日本高速道路株式会社、TOTO株式会社
PM2.5のワンストップサービス 微小粒子状物質(PM2.5)対応プロジェクト 富士通クオリティ・ラボ株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

コンビエコアクト コンビ株式会社
(以上、審査委員長特別賞1件)

第10回エコプロダクツ大賞審査委員会 審査委員長講評

審査委員長

石谷 久
東京大学名誉教授



本大賞も第10回を迎え、この間、多数のエコプロダクツ、エコサービスを選定してきた。これらのエコプロダクツ大賞受賞製品、サービスは環境保全とエネルギーの有効利用を達成できて、関心を持つ人々に対してその環境改善の意義や効果が具体的に示され、良く理解されたと考えられる。日本の環境負荷削減の努力は技術開発、実証プロジェクト、製品化へと段階的に進んで、これらを利用するサービスまでの広い範囲にわたるエコプロダクツが現れてきた。今後一般ユーザーのエコプロダクツへの関心が深まり、その普及が促進されることが望まれる。今回も大賞として多くの省エネ・省資源、地域環境改善等の対象が選定された。大臣賞、節電大賞の概要を以下に要約する。

エコプロダクツ部門では、以下の5件が大臣賞、節電大賞を受賞した。

農業水産大臣賞：「雑草アタック S」は、従来、廃棄物とされた竹材を短繊維入り自然土防草舗装材として再生利用するもので森林資源の保全と生物多様性の増進策として評価された。

経済産業大臣賞：「省エネ・環境・震災配慮型エレベーター」は、消費電力を最大50%に削減したオーダー形エレベーターである。省エネルギー・安全性能を向上させたことが評価された。

国土交通大臣賞：「SMA×ECOプロジェクト」はエネルギー自給自足の街づくりとして、共用部に太陽光パネルを設置し、LED街灯、集会所冷暖房、電気自動車へ供給する。住民自身がこの効果を経験することで省エネ意識向上に資する取り組みとして評価された。

環境大臣賞：「アグロフォレストリーチョコレート」。自然の生態系に倣い森林伐採後、多種の農林作物を共生させつつ栽培するアグロフォレストリー（森をつくる農業）により日本向けチョコレートの原料、カカオ豆を生産している。当地の環境維持に加え、農家の経済安定にも貢献、また日本国内の消費者がアマゾンの森林再生の意識を高めることにつながる。

節電大賞：「三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」(Zシリーズ)」は、人体の各部位レベルで計測した体感温度に応じて細かく制御して快適性維持のまま節電するシステムを搭載した節電型エアコンである。節電診断機能を搭載し、ユー

ザーの節電意識・行動の促進も実現可能なエコプロダクツである。

エコサービス部門では以下の4件が大臣賞、節電大賞を受賞した。

経済産業大臣賞：「画像人感センサーを活用した次世代照明制御システム」は画像認識技術と照明制御技術を融合した照明制御システムを開発し、使用状況に応じた照明をリアルタイムに実施する。今後、高齢化社会が進む中で、安否確認手段にも運用されるなど、利用方法の可能性も高い。国土交通大臣賞：「泡の力で省エネ」は船底に空気を送り込んで船体と海水の摩擦抵抗を低減させる「空気潤滑システム」を搭載し、船舶の恒久的運用に成功したものである。環境大臣賞：「近大エコ出願」はインターネットを利用した出願方式を導入するため、この方式で出願する受験生の検定料を割り引いたもの。この制度を実現するため、未使用願書を再利用したポスターで交通広告を展開している。節電大賞：「エコな下水処理場」は山形市浄水センターにおいて発電排熱を回収して汚泥消化層を加温するコージェネレーション発電を実施している。平成24年には燃料電池を導入し、温室効果ガスを約2,049 t削減した。また、消化ガス発電により、年平均で使用電力量の約55%、平成25年度(4～7月)は60%以上の電力を賄った実績を評価した。

以上の受賞対象は例年の通り、先端的技术に基づいた高効率機器、或いは複雑・高度な制御で省エネを達成した技術中心の省エネ製品、広い範囲の環境的視点、特に一次産業に対してその背景となる自然環境維持など含めた総合的な環境負荷低減を重視した案件もある。特に日本へ原料を提供する途上国の環境保護を重視したエコプロダクツ、エコサービスは今後の普及が途上国の環境保護にも好影響を残す。今後も日本発エコプロダクツ、エコサービスの事例やその選定方式を世界全体に展開して、国際的にも認められる制度定着を願う。なおこれらの事例は環境維持と共に新技術や環境保持規制などを利用してユーザーの経済性改善も注意して織り込んでいるケースが多い。この特性は今後、途上国も含めて世界的に速やかにエコプロダクツを普及するための重要条件として考慮する事が適当と思われる。

農林水産大臣賞

名称

雑草アタック S

会社名・事業所名

日本乾溜工業株式会社



Before



After



散水作業

出品者
アピール

自然素材100%で作られた「竹短繊維入り自然土防草舗装材」。厳選した自然の土と天然の海水から抽出したにがり成分（酸化マグネシウム）と竹短繊維を混合した自然環境にやさしい防草舗装材。薄く平らに敷き均した後、その上から直接、散水して、表面を軽くコテなどで締め固めるだけで、自然土色のままで硬く固まり、雑草抑制や土舗装が行える。

日本古来より土堀や三和土（たたき）で使われてきた伝統的左官土手法を取り入れ、廃棄物とされていた竹材を土系舗装材の靱性を高める補強繊維として使用することにより、従来のセメント系固化材を使用した土系舗装材に比べ、ひび割れ防止効果が期待でき、雑草抑制効果を長期間（10年以上）維持することが可能。また、透水性と保水性を有しており、施工後はコンクリート舗装やアスファルト舗装に比べ、夏期のヒートアイランド防止効果が期待できる。

今まで、あまり利用されずに厄介者として廃棄処分されていた竹を再生可能な資源として有効活用している。現在、自然環境に負荷の少ない環境型の防草舗装材として、公園や道路植樹帯などの公共の場や個人住宅の庭などで採用され、昨年より、大手ホームセンターでも販売を開始した。

評価

本製品は、自然素材100%でつくられた竹短繊維入り自然土防草舗装材である。

近年急激に山林に広がって生態系に影響を与えている放置竹林の竹や間伐竹などから造られた竹短繊維を原料としており、従来廃棄処分されていた竹をバイオマス資源として再生利用することによって、森林資源の保全と生物多様性の増進が図られるとともに、里山や竹林の景観の維持に貢献していることも評価される。

また、アスファルトやコンクリートに比較して輻射熱発生を抑制でき、ヒートアイランド現象の緩和にも効果があるとともに、廃棄する場合でも簡単に自然に還すことができ、自然にやさしいことも評価される。

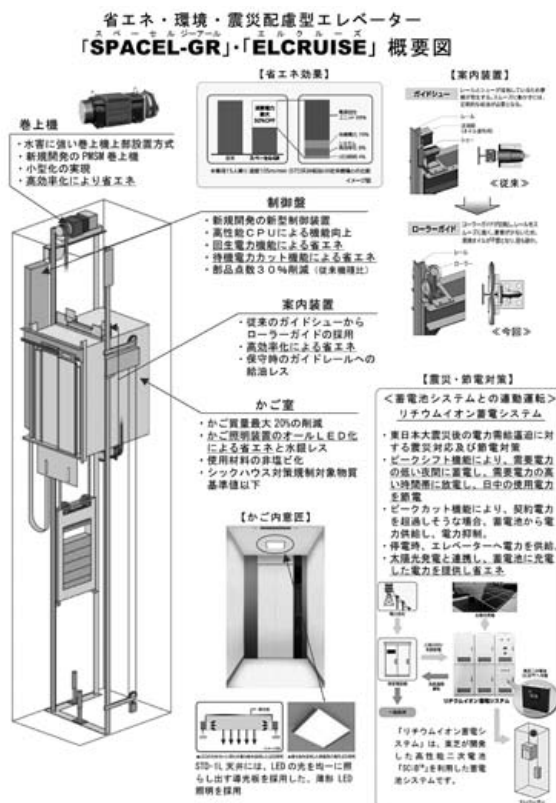
経済産業大臣賞

名称

省エネ・環境・震災配慮型エレベーター
「SPACEL-GR」「ELCRUISE」

会社名・事業所名

東芝エレベーター株式会社



出品者
アピール

グリーンコンセプトをキーワードに標準タイプからオーダーメイドタイプまでの幅広い範囲で「SPACEL-GR」「ELCRUISE」として開発、商品化を実施した。このエレベーターは、主に以下の特徴を有する環境配慮型製品である。

- (1) 蓄電池と商用電源を最適に組み合わせることによりピークシフト、ピークカットを行い、電力を効果的に活用できるほか、地震や落雷などによる突然の停電時でも蓄電池容量に応じた継続運転を行う機能を備えている。
- (2) 省エネ性能向上のため、インバータ制御やPMSMギヤレス巻上機採用に加えて、「回生電力の有効活用」「待機時消費電力の大幅削減」「照明のLED化」「システムの高効率化」などにより「消費電力最大50%削減（当社従来機種比）」を達成した。
- (3) 環境面ではかごの案内装置に、このクラスでは業界初となるローラーガイドの標準採用で、レールへの潤滑油不使用

を達成している。

さらに、当社のマシンルームレスエレベーターは、巻上機・制御装置等の主要機器を昇降路上部に設置することで、集中豪雨や台風により昇降路内に浸水が発生した場合でも、被害を最小限に止めるといった、お客様への安心・安全性向上に寄与している。

評価

新開発の制御装置により待機電力を削減し、回生電力機能やLED照明の採用により、従来機種にくらべ消費電力を大幅（最大50%）に削減した標準形およびオーダー形エレベーターである。ドアまわりの安全に配慮し、電力需給逼迫による計画停電の際には蓄電池から電力供給する機能など、安全性・安心感の向上に加えて、ローラーガイドの採用により快適な乗り心地を実現している。ゼロアスベストや鉛、水銀フリーなど、有害物質の削減にも取り組み、オーダー形の機械室有り／無しタイプの中低速エレベーターとオーダー形機械室有りタイプ的高速エレベーターなど、建物の規模や用途によって幅広い機種を選択できる。安全・安心・快適・環境をコンセプトに、さらなる省エネルギー・安全性能を向上させたエレベーターは優れたエコプロダクツとして高く評価できる。

国土交通大臣賞

名称

SMA × ECOプロジェクト

会社名・事業所名

大和ハウス工業株式会社



出品者 アピール

低炭素社会を実現し、エネルギー自給自足へシフトしていくための街づくりのプロジェクト。従来から環境共生を重視し、土地の自然条件を利用して快適な生活環境へ活かすパッシブデザインを行ってきたが、東日本大震災以降のエネルギー事情の変化や消費者のエコへの関心の一層の高まりを受け、今まで以上に快適で省エネ、安全で安心な街を目指す取り組みを続け、SMA×ECOプロジェクトとして、IT・蓄電技術を取り入れた住まい手が自然にエコな生活を指向する街を可能にした。

SMA×ECOプロジェクトの一部では、行政とともに、省エネ・省CO₂に関する先導的な取り組みにも挑戦。大阪府堺市【SMA×ECOタウン晴美台】では、ネットゼロエネルギータウンを目指し、国交省の「住宅・建築物省CO₂先導的事业」および「堺市エコモデルタウン創出事業」に採択された。茨城県つくば市【SMA×ECOシティつくば研究学園エコ

タウン】では、「国土交通省まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業」に採択されて街づくりを行う中で、移動手段のエコ化にも取り組んだ。このように、街を舞台にした省エネへの取組を柔軟に取り入れていることも特徴。

評価

エネルギー自給自足へシフトしていくための街づくりのプロジェクトであり、共用部に設置した太陽光パネルの発電と蓄電池を組み合わせることにより、街にあるLED街灯、集会所冷暖房、電気自動車への電力供給が可能である点など、「街全体のエネルギー見える化」や「住民自身に関わる環境保護」の仕組みを取り入れている点を高く評価した。また、エネルギー消費削減率が上位の家庭に、カーシェアリングに利用可能なポイントを付与する仕組みも、楽しみながら省エネ意識を向上させる取り組みとして評価した。

環境大臣賞

名称

アグロフォレストリーチョコレート
(チョコレート効果群を含む)

会社名・事業所名

株式会社 明治



出品者
アピール

このアグロフォレストリー農法は1929年にブラジルのアマゾン移民として渡った日本人の手によって確立された。持続的な土地利用により森林を再生・維持する農法で、生物多様性の保持なども可能になり、ここ数年、地球規模の環境対策の一つとして世界中から注目されている。

当社では、アグロフォレストリー農法によってカカオを生産しているブラジル連邦共和国パラ州トメアス地区のCAMTA農協と契約し、カカオ豆の購入を進めてきた。カカオ豆を継続的に購入するだけでなく、研究スタッフを現地に派遣しカカオ豆の発酵技術を共同で開発することで、日本人の嗜好に合致するカカオ豆を作り上げることに成功。

チョコレートの消費国である日本が求める品質を、カカオ豆の生産国であるブラジル・トメアスの日系人農家が作りあげることで、より持続的な製品への利用が可能となる。また

持続的な取り組みは、このような環境貢献だけでなく、生産国の農家の安定収入の確保、技術力及び生活水準の向上にも貢献している。

これまで当社が購入したアグロフォレストリー農法で生産されるカカオ豆は、年間平均約180t、180ha（およそ東京ドーム38個分）の森林再生・維持に貢献した計算となる。

評価

アグロフォレストリーとは「森をつくる農業」とも呼ばれ、森林伐採後の荒廃した土地に、自然の生態系に倣い多種の農林作物を共生させながら栽培する農法であり、持続可能な土地利用により森林を再生・維持させ、生物多様性の保持なども可能である。本製品は2011年3月の発売開始からの2年間で約100万個以上の出荷をし、アグロフォレストリー農法そのものを直接消費者へ訴えることで社会意識形成に貢献した点を評価した。

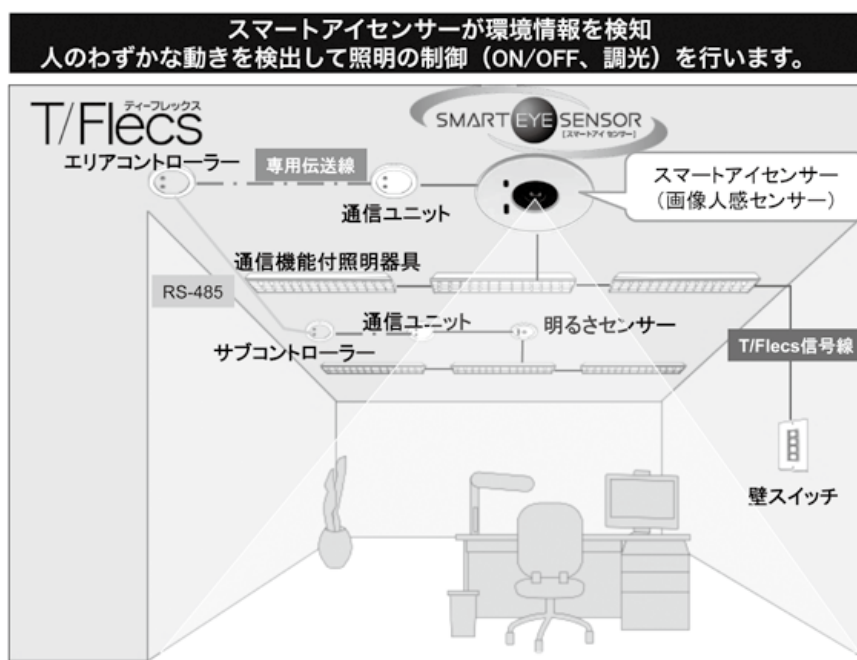
経済産業大臣賞

名称

画像人感センサーを活用した次世代照明制御システム

会社名・事業所名

東芝ライテック株式会社、株式会社東芝



出品者 アピール

これまでのオフィス・店舗等の照明制御システムでは、休憩時間の全消灯や、外光が入射する特定エリアの明るさ調整などマクロな制御が中心であった。当社では画像認識技術と照明制御技術を融合したハイブリッドタイプの次世代照明制御システムを開発、使用状況に応じ、人々の活動に対してリアルタイムに、きめ細かいミクロな制御ができる照明省エネ制御を業界に先駆け開始した。

本システムの主な特徴は、デスクワークにおける僅かな動きを検知し、検知エリアを最大4分割できる新しい人感センサー（※1）及び照明器具をそれぞれ個別に制御できる照明制御システム（※2）である。また、この人感センサーには人々の活動量と人数を推定する機能があり、これらの情報をBEMSとエレベータ等の設備に連携させることで、エレベータ待ち時間の短縮などの快適性を高めている。

10月31日に神奈川県川崎市に開所した東芝スマートコミュニティセンターにも本システムを導入している。

- ※1 画像人感センサー「スマートアイセンサー」
- ※2 照明器具個別制御システム「T/Flecs（ティーフレックス）」

評価

画像認識技術を用いた新しい人感センサーを照明器具個別制御システムに組み込むことにより、効果的な省エネルギー制御を実現できるサービスである。人の動きをリアルタイムに、小さな動きも検知でき、デスクワークの動きも検知できる。また、検知範囲の調整ができるためレイアウトの変更にも対応でき、オフィス内の通路など、検知対象から除外したい場所は、検知対象除外ゾーンにする先進機能を備えている。点灯保持時間をより短く設定して不在時のきめ細かいコントロールをすることにより、ビルやオフィス向けに展開してより一層の省エネルギーに貢献できる優れたサービスである。

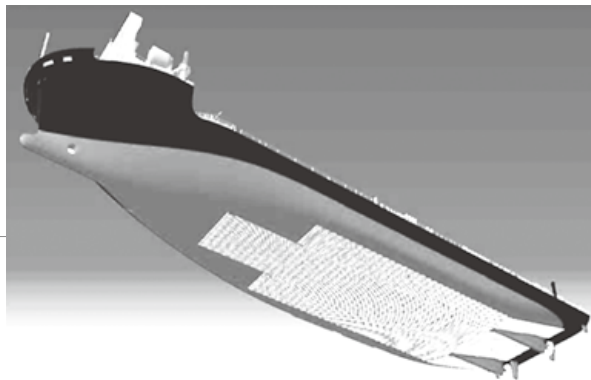
国土交通大臣賞

名称

泡の力で省エネ「空気潤滑システム」搭載船での運航

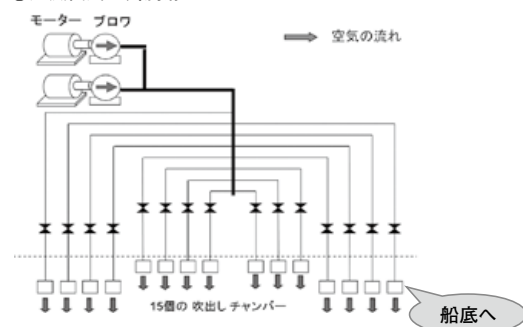
会社名・事業所名

日本郵船株式会社、株式会社MTI、株式会社大島造船所

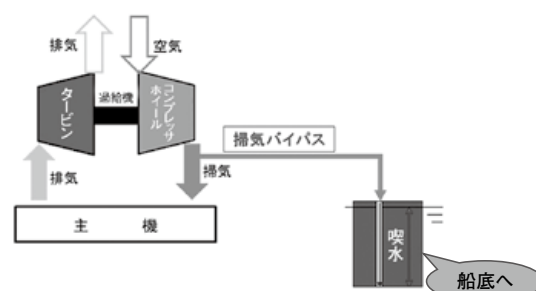


【船底に空気を送り出す方法】

①送風機式空気潤滑システム



②掃気式空気潤滑システム



出品者 アピール

一度に大量の貨物を運ぶことのできる船は飛行機や鉄道、自動車と比べ最も環境に優しい輸送手段であるが、今後も世界の経済成長が続く海上貨物輸送量も増加すると予想される中、船から排出されるCO₂の増加は無視できないものとなっている。

そのような状況の中、日本郵船グループは船舶のCO₂排出削減を目的とする省エネ技術の一つとして、船底に空気を送り込むことによって船体と海水の摩擦抵抗を低減させる「空気潤滑システム」を3隻の運航船に搭載し、世界で初めて恒久的運用に成功した。

この船底に送り込む空気によって抵抗が減る現象は古くから知られ、1970年代より技術的な認識として有力視されていたものの、省エネ効果の確認、実用化までには至っていない状況だったが、研究機関や造船所とともに研究開発を進め、実船搭載と運用に成功した。

引き続き、実航海中のデータによる性能解析や機器レビューを通じて本システムの最適運用を目指すとともに、自動車専用船等の船種への搭載を積極的に進め、日本郵船グループを挙げての省エネ運航に尽力していきたい。

評価

船舶のCO₂排出削減を目的とする省エネ技術として、船底に空気を送り込むことによって船体と海水の摩擦抵抗を低減させる「空気潤滑システム」を搭載し、世界で初めて恒久的運用に成功した。掃気式空気潤滑システムの実用化により、より喫水の深い船への搭載も可能となり、今後の展開が期待される。海運分野の先導的モデルとして普及が期待されるとともに、本システム搭載船による運行により、環境意識の啓発推進に寄与する点も評価した。

環境大臣賞

名称

近大エコ出願

会社名・事業所名

学校法人近畿大学



古願書の上に広告ビジュアルを印刷

出品者 アピール

本学では平成25年度入試において、環境保護の観点から出願時における将来的な紙の願書の廃止を視野に置いた、地球環境に優しく（エコロジー）、受験生の経済的な負担も減らす（エコノミー）、インターネット出願（以下ネット出願）、「近大エコ出願」を実施した。本学は平成24年度入試に際し、13万部の願書セットを用意した。これは積み上げると東京スカイツリー約3本分の高さで、重量にすると約100 t。これを課題と考え、4年前よりインターネットを利用した出願方式を導入してきたが、受験生の「出願は紙の願書で」という意識の強さからか、平成24年度までのネット出願の利用率はわずか数パーセントであった。そこで、平成25年度入試よりネット出願者に対し検定料を割引くことで、ネット出願の利用率を70%まで引き上げることを目標にし、「近大エコ出願」を実施。使われなかった実際の願書を再利用したポス

ターを制作した。

このポスターはJR「大阪駅」と近鉄「大阪難波駅」で本年1月7日から13日まで展開し、多数のメディアやtwitterなどのSNSでも話題となり、本学の環境を意識した取り組みが多くの生活者へも周知することとなり、受験生、高等学校、予備校から本学の「日本一環境に優しい入試」は多くの共感を得て、ネット出願件数は平成24年度入試の3,767件から82,030件まで大幅に増加（21.8倍）、ネット出願率は全体で64.4%、後期入試では目標としていた70.0%を達成した。

評価

近畿大学では、紙の出願の件数を減少させるため、4年前からインターネットを利用した出願方式を採用してきたが、今年度入試からは検定料の割引等による「近大エコ出願」を実施し、使われなかった願書の再利用ポスターによる啓発がメディア等で話題となり、インターネット利用率を大幅に引き上げることに成功した。来年度入試からは、日本で初めて完全インターネット出願を実施することとしており、全国への波及も含めて、本取組を評価した。

節電大賞

名称

三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」(Zシリーズ)

会社名・事業所名

三菱電機株式会社



出品者
アピール

社会的にも節電意識が高まる中、当社ルームエアコン「霧ヶ峰」は、基本性能の向上とともに、使用実態を踏まえた無駄な空調の抑制という視点に注力し、快適性と省エネ性を両立した商品の創出に取り組んでいる。本商品では、「部屋全体、人のいる空間を空調する」という従来のエアコンの概念を変えて、「人を直接温める」という新しい空調の概念で技術開発に取り組んだ。新規技術として、従来検出できなかった「頭・手・足など体の部位ごとの温度」を細かく検出する3008画素のサーモグラフィー「ムーブアイ極(きわみ)」と人の位置や姿勢・体の温度に合わせ自在に気流を吹き分ける気流機構「匠(たくみ)フラップ」を導入した。これにより、暖房運転では、冬場の足先など体の冷えた部位をピンポイントで直接温めるなど、本質価値を迫及した空調を実現し、快適性を損なわずに無駄な電力消費を抑制して大幅な節電効果を実現した。

また地球環境にも配慮し、地球温暖化係数が従来のR410Aと比較し約3分の1の新冷媒R32を採用した。さらに新冷媒の特性に合わせて漏れ損失を低減した高効率圧縮機、熱交換器、プロペラファンなど省エネに寄与するキーパーツについても新たに設計し、基本性能の向上を図った。

評価

送風運転の風と従来の冷房運転の風を自動で切り替えて節電する「ハイブリッドシステム」を業界で初めて搭載した節電型のルームエアコンである。体感温度を独自のセンサー技術で体の部位の温度まで細かく計測しながら、送風運転の風と冷房運転の風を自動切替でき、室内の温度が上がってもすぐに冷房運転せず、送風の風を徐々に強くして体感温度を維持することができ、快適性を維持したまま節電に貢献できる。また、暖房時は天井に溜まった暖気を検知して部屋の空気を循環させるモードに自動切替でき、暖房シーズンでも大幅な節電が期待できる。さらに、設定による節電効果をレベルでリモコンに表示する節電診断を搭載するなど、省エネルギー性と利便性の両立を実現し、大幅な節電効果を実現できる優れたエコプロダクツである。

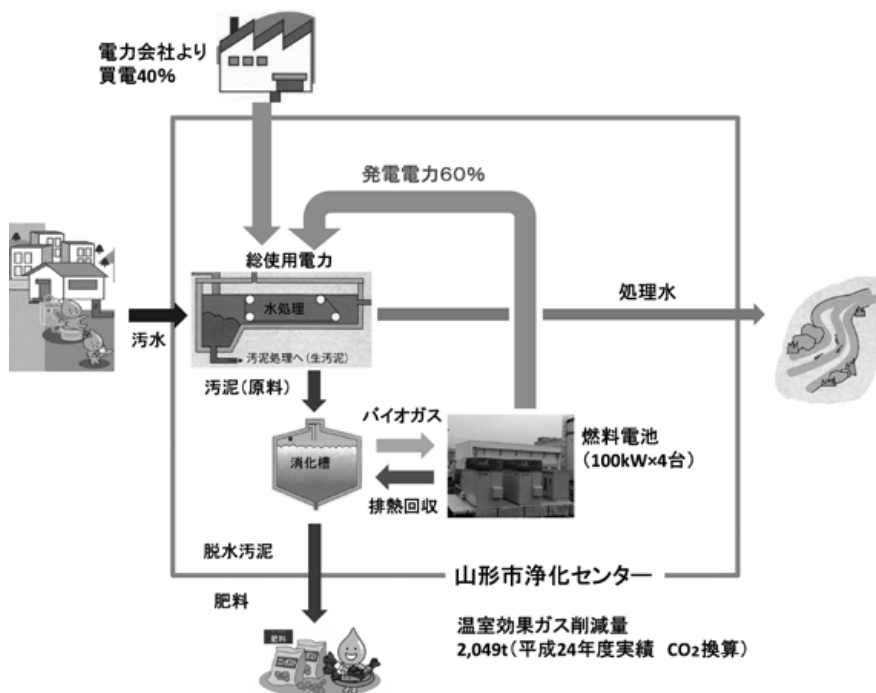
節電大賞

名称

エコな下水処理場

会社名・事業所名

山形市上下水道部 浄化センター



エコな下水処理場フロー図

出品者
アピール

山形市浄化センターは昭和40年11月より供用を開始した下水処理場である。下水処理工程で発生する汚泥消化ガス(バイオガス)を利用した消化ガス発電にも取り組んでいる。

昭和63年からガスエンジン発電機178kW×1台を導入し発電を開始した。同時に発電排熱を回収し汚泥消化槽を加温するようにした。これにより場内で消費する電力の約23%を賄うことができた。

その後、平成14年に燃料電池100kW×2台を導入。また、平成24年度、エンジン発電機を燃料電池100kW×2台に更新。(現在、燃料電池100kW 4台)これにより電力の自給率が60%台へ向上した。

発電及び排熱回収により、温室効果ガスは平成24年度で約2,049t(CO₂換算)の削減があったと試算される。

下水処理場では多量の電力を消費するが汚水処理で生じる

下水汚泥はバイオマスの一種であり、そこから発生する消化ガスは温室効果ガスを増大させないエネルギーとして、処理場に必要の電力を供給する原料になる。当処理場では消化ガス発電の発電量増加と使用電力量の削減により、更に環境に優しい循環型の処理場を目指していく。

評価

山形市浄水センターでは、昭和63年から発電排熱を回収して汚泥消化槽を加温するコージェネレーション発電を開始しており、平成14年と平成24年に燃料電池を導入することにより電力自給率を向上させ、温室効果ガスを約2,049トン(二酸化炭素換算)削減した。また、消化ガス発電により、平成24年度は年平均で使用電力量の約55%、平成25年度(4月~7月)は60%以上の電力を賄っている点を、節電に資する取り組みとして大きく評価した。

名称 高耐食性めっき鋼板「スーパーダイマ[®]」

会社名・事業所名 新日鐵住金株式会社



従来の溶融亜鉛めっき鋼板にアルミ、マグネシウム、シリコンを加え、「スーパーダイマ[®]」の耐食性は約4倍まで向上。製品の耐久性が向上することで、使用する資源の削減に繋がった。また、加工後のめっき工程省略も可能

短縮は、太陽光発電事業の事業実現性を後押しし、現在の太陽光発電普及の一助となっている。

評価

本製品は、従来の溶融亜鉛めっき鋼板にアルミ、マグネシウム、シリコンを加え、これらの複合効果で耐食性を向上させており、その耐食性は従来の溶融亜鉛めっき鋼板の約4倍にもものぼる。その優れた耐久性と経済性から、ソーラーパネル設置用架台への採用も拡大しており、現在の太陽光発電普及の一助となっている。本製品は、日本発で世界に発信できる先進的な素材であり、すでに市場でも高く評価されている点も含めて評価した。

**出品者
アピール** 「スーパーダイマ[®]」はその優れた耐久性、経済性により太陽光発電事業の普及・推進に寄与している高耐食性めっき鋼板である。

となり、耐食性を担保しつつ鋼板の厚みを薄くすることで鋼材使用量の飛躍的な削減に繋がった(約1/3)。使用鋼材の削減によるコスト削減、及び施工工期の

名称 100%石油外天然資源タイヤ「ダンロップ・エナセーブ100」

会社名・事業所名 住友ゴム工業株式会社



出品者 アピール

合成ゴムが主流となってきたが、世界初となる100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ100」を11月から販売。当社は石油資源の枯渇という問題に対して、2001年から石油や石炭などの化石資源を一切使用しない100%天然資源のタイヤの開発に取り組んだ。一般的な乗用車用タイヤの原材料の約60%は石油由来の原材料である合成ゴムや合成繊維などで構成されているが、「エナセーブ100」は天然資源である天然ゴムや植物繊維、シリカ、植物油などに置き換え、石油外天然資源の使用比率100%を達成した商品である。

評価

一般的な乗用車用タイヤは原材料の多くを石油等の化石資源が占めているが、本製品は、これらの原材料を天然資源である天然ゴムや植物繊維、シリカ、植物油などに置き換えた、世界初となる100%石油外天然資源タイヤである。また、タイヤの転がり抵抗を従来より低減したことにより燃費を向上させ、ガソリン燃焼によるCO₂を削減する効果も生み出している。原材料の天然資源化により、焼却時のCO₂を相対的に削減し、また、燃費向上の面でも環境への負荷を抑えており、これら幅広く環境に貢献している点を評価した。

名称 オフセットサイディング

会社名・事業所名 ニチハ株式会社

出品者 アピール

震災を機に暮らし方やライフスタイルが変化し、今まで以上に個々の環境配慮への意識が高まるなか、従来の外壁材機能に加え、もれなく環境貢献の価値観を実感できる「地球に優しい外壁材」がオフセットサイディングである。製材後に排出される背板や端材等を木材チップにして原材料に使用。この森林資源の有効利用に加え、2011年COP17の合意事項を背景に外壁材の原料として取り込んだ国産木材チップが炭素の貯蔵庫（固定）として認められたことによって、CO₂固定量の数値化が可能となり、外壁材として

住宅や店舗等に使用するだけで地球温暖化防止への貢献度が実感出来る製品となっている。

評価

本製品は、製材後に排出される背板や端材等を木材チップにして材料とした外壁材である。原料の国産木材チップは炭素の貯蔵庫（固定）として認められており、住宅や店舗等に使用するだけで地球温暖化防止や循環型社会の形成への貢献並びに新たな需要の開拓等による地域の活性化が期待できる。また、特別なイニシャルコストの発生もなく、豊富なデザイン

とカラーバリエーションで外観を自在に設定することが可能である。また、本製品の使用者に「CO₂の固定量証明書」を発行することで、環境貢献が実感できるとともに環境意識の向上に貢献していることも評価される。



名称 高性能樹脂窓「APW330」

会社名・事業所名 YKK AP株式会社

出品者 アピール

窓からの熱損失を抑えるため、断熱性に優れた樹脂フレームとLow-E複層ガラスを採用。主材料となる樹脂はアルミに比べ熱伝導率が約1/1000と低く、熱エネルギーを反射するLow-E複層ガラスと組み合わせることで、優れた断熱性能と防露性能を発揮。経済産業省告示の省エネ建材等級「窓」分野において最高の「4つ星」となる断熱性能を有し、窓を通る熱量を示す熱貫流率では、一般的なアルミフレームと複層ガラスの窓が4.65W/(㎡K)に対して「APW330」は1.90W/(㎡K)と半分以下。年間冷暖房費を約25%節

約、年間CO₂排出量も約25%削減でき、省エネと環境負荷低減に大きく貢献。

評価

断熱性に優れた樹脂フレームと高性能な真空トリプルガラスを組み込んだ高性能樹脂サッシである。冷暖房機の使用を減らすことで、省エネルギーに貢献するほか、ガラス部分の結露防止効果、窓際で感じる冷輻射を軽減する機能を備えている。断熱性能は一般的なアルミ窓の約4倍、アルミ樹脂複合窓の約2倍を実現し、窓の熱貫流率は国内最高クラスで、3枚重ねのトリプルガラスでも高い日射取得率を確保するなど、断熱性能と日射取得のバランスが取れている。独自のフレ



ーム・ガラス接着技術によりフレーム強度が高まりスリム化を実現したことで、原材料（樹脂とアルミの重量）を重量比で34%～25%削減している。一般的なアルミ複層ガラスの窓に比べ冷暖房設備の消費エネルギーを約25%、年間のCO₂排出量も約25%削減するなど優れたエコプロダクツである。

名称 オアシスEVシェアリング

会社名・事業所名 株式会社オアシスソリューション

**出品者
アピール** 日本初の“EV（電気自動車）専門”マンション向けカーシェアリングサービスである、『オアシスEVシェアリング』を展開。サービス車両にEVを使用することで、更なる環境負荷の低減（化石燃料の利用料抑制やCO₂排出量削減）が実現できる。航続距離やインフラコスト等の問題で、なかなかEVの普及が進んでいなかったカーシェアリング業界において、ガソリン車との併用ではなく、あえてEVに特化し、全てのインフラや仕組みをEV専門として構築することで、全体的なコスト削減を実現。利益性を確保しつつ、お

客様に導入頂きやすい価格モデルを確立した。

評価 日本初のマンション向け電気自動車（EV）専用カーシェアリングサービスである。環境配慮型のエコマンションの建設時に、ガソリン車との併用ではなくEVに特化することで、EV用の充電設備の設置など全てのインフラやシステムをEV専門として

構築することにより、全体的なコスト削減を実現している。自治体と連携したEVシェアの取り組みやレンタカー会社や自動車メーカーによるEVシェアサービスはすでに数多く提供されて来たが、今回の新しい取り組みは、マンションでの充電インフラを急速に普及させ、個人所有の自家用車数を減らし、災害時の非常用電源として電力供給にも利用できるという側面もあり、優れたサービスである。

■サービス概要図

管理組合より導入費・運営費を頂く代わりに、利用者より徴収した利用料を全額組合へキャッシュバック。導入頂きやすいスキームを実現。



名称 自然由来の吸着材を用いた水質保全システム「アクアトープ」

会社名・事業所名 大成建設株式会社、日本植生株式会社

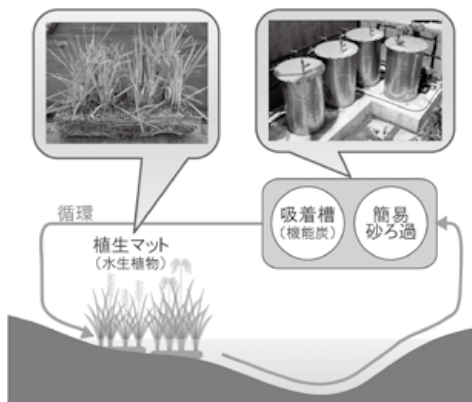
**出品者
アピール** 自然由来の原料から作製した吸着材を用いて栄養塩除去を行うことで、生態系に配慮しながら都市部の池などで見られる藻類の大量発生を抑制。従来、除去が難しかった硝酸イオンを安価に効率良く吸着する新しい吸着材（以下、機能炭と称す）を開発し、これを用いて水質保全システムを構築した。水生植物の導入も含め、良好な景観と生態系保全の両立を図る。機能炭は、今まで焼却などの処分をされていたコーヒー抽出後の豆を特殊な工程で炭化したもので、使用後は池周辺の緑地に散布することで肥料として循環利用が可能。藻類等の発生量を1/5に減少さ

せることができるため、大型の砂ろ過は必要なく、システム運用・維持管理に要するエネルギー・水使用量は1/3以下にできる。

評価 「アクアトープ」は、今まで焼却処分されていたコーヒー抽出残渣を原料とした吸着材を用い、硝酸イオンを効率的に吸着するという画期的な機能で栄養塩除去を行い、藻類の異常発生を抑制するなど生態系に

配慮しながら水質を保全するシステムである。

使用後の吸着材は、池周辺の緑地の肥料として循環利用が可能であり、従来のろ過システムに比べ、システムの運用・維持に要するエネルギー・水使用量を低減することができることや本システムを導入したビオトープ池では、地域の生態系や水質についての実地の環境教育が行われていることも評価される。



名称 **大分自動車道 エコエリア山田 男性トイレ エコトイレサービス (手洗器一体型小便器)**

会社名・事業所名 **西日本高速道路株式会社、TOTO株式会社**

**出品者
アピール** 大分自動車道「エコエリア山田」は、新しい環境技術や省エネ技術・システムを積極採用した未来のサービスエリア。ショップやフードコートなど、数ある施設の中でも「トイレ」は、いくつかの先進的かつ独創的な省エネ技術を導入しており、省エネと快適さを両立した「おもてなし」の空間である。導入した節水技術は「手洗器一体型小便器」。便器上部に手洗器を設置した構造を持つ斬新な機能デザインの小便器である。従来よりも、水使用量を小便器1台あたり約0.1～0.5L/回削減（手洗時間の長短により変動）でき、そ



れによりトイレ空間全体の節水に寄与することができる。

評価 大分自動車道のサービスエリア「エコエリア山田」では、メガソーラー発電を導入しており、「省エネ技術」と「太陽光発電」にて、CO₂排出量ゼロを目指している。



本サービスは、同エリアにおいて「手洗器一体型小便器」を導入することにより、小便器1台で1回あたり0.1L以上の水使用量を削減し、トイレ空間全体では3～15%の節水効果を得ている。利用者は手洗水が便器へ流れていく状況が視覚的にも理解できるため、節水貢献を実感することによるエコ意識の芽生えにも貢献する点を評価した。

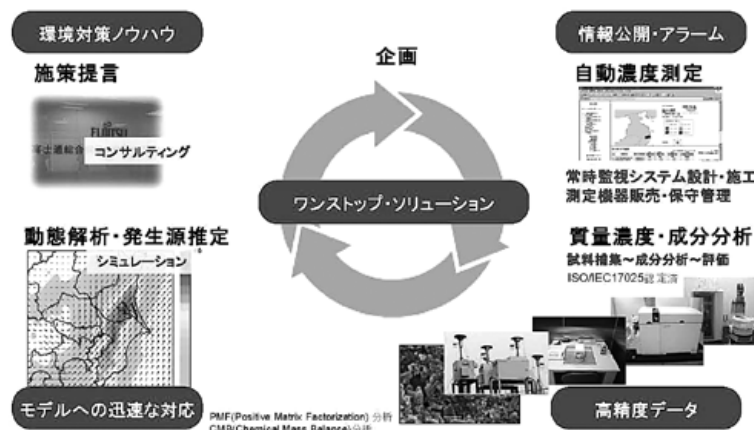
名称 **PM2.5のワンストップサービス 微小粒子状物質 (PM2.5) 対応プロジェクト**

会社名・事業所名 **富士通クオリティ・ラボ株式会社**

**出品者
アピール** 微小粒子状物質 (PM2.5) 対応ワンストップ・ソリューションは、大気汚染状況の測定、データ収集、データ管理・監視、注意情報発令・国への報告など大気常時監視業務をサポートするシステムと、微小なため肺の奥深くに入り込み沈着した場合、健康に影響を与えることが懸念されている「微小粒子状物質 (PM2.5)」の濃度測定・成分分析サービスを組み合わせた統合的ソリューション。

評価 大気汚染状況の測定、データ収集、データ管理・監視、注意情報発令・国への報告など大気常時監視業務をサポートするシステムと、「微粒子状物質 (PM2.5)」の

濃度測定・成分分析サービスを組み合わせた統合的ソリューション安全・安心な生活の確保に向けた取り組みに資するサービスである点を評価した。



名称 **ピークシフト自販機**

会社名・事業所名 **日本コカ・コーラ株式会社**

出品者
アピール

冷却のための電力使用を、電力需要が集中する日中から、比較的余裕がある夜にシフトさせることで、夏の日中に冷却用の電力を使うことなく、消費電力を最大95%削減しながら最長16時間にわたって冷たい製品を提供できる。その仕組みは、夜間に収容製品の全量を冷却して保冷機能を高めることで、冷却を停止しても製品の温度上昇を抑える。また、従来のウレタン素材に比べ、10倍の断熱性能をもつ真空断熱材をより多く採用することで、

外気温の影響を受けにくくした。さらに、扉の気密性を高めて冷気を逃さない工夫を施している。初年度の2013年は9月末時点で25,000台を設置済み。

評価

本製品は、冷却運転を電力使用が「ピーク」となる日中から夜間に「シフト」する、「ピークシフト」というコンセプトを採用し、午前7時から午後11時までの最長16時間の冷却用電力を「ゼロ」にすることで、従来機よりも日中の消費電力95%削減を実現しつつ、冷たい製品の提供を可能にした点を評価した。



名称 **グッドマン換気口(パッシブ換気口)**

会社名・事業所名 **有限会社グッドマン**

出品者
アピール

隙間の多い建物では自然換気量コントロールは不可能だが、同製品は高気密建物で温度差換気作用(室内上部空気の籠もり解消)、

風力換気作用(通風効果)により自然給排気、室内側ダンパー上部で室内外空気が混じり合いダウンドラフト緩和により室温の変化少なく、四季を通じて快適

な自然風が得られ、冷暖房時のエネルギーロスの少ないパッシブ換気口。

パッシブ換気とアクティブ換気の良さを組合わせたハイブリッド換気システムで最小のエネルギー消費量で室内の快適空気質と温熱環境を得、地球環境

に優しいスマートライフ時代の換気設備である。

評価

本製品は、高気密住宅向けの、温度差換気作用(室内上部空気の籠もり解消)、風力換気作用(通風効果)を利用した換気口である。冷暖房時のエネルギーロスが少なく停電時等にも一定の換気量を保つことに加え、初期費用が安価で維持費用もかからず、耐用年数が高い点も評価した。戸建住宅やマンション管理会社に加え、自治体、学校、病院等にも採用され、北海道から沖縄まで需要が広がっており、換気口の先導的なモデルとして今後の普及が期待される。



名称 **フローラル・マット**

会社名・事業所名 **有限会社仲田種苗園**



出品者
アピール

独自の特許技術による植生マットおよびそれを中心にした自然回復技術。土地本来の生態系(エコシステム)を回復して、2大地球環境課題である温暖化防止と生物多様性を復元することである。既存の植生マットが1種類の植物を使用しているのに対して、フローラル・マットは1マットあ

たり10種類以上の在来の花野草を混植して、四季の変化(美)を楽しむことができる。

評価

本製品は、10種類以上の在来の花・野草を混植して四季の変化を楽しむことができる独自技術による植生マットである。在来植物種を使用しているため、外来種の侵入・拡大が問題となっている今日、日本本

来の生態系保全に寄与することも評価できる。屋上緑化への使用も容易で、冷暖用の電気使用量の削減効果があるとともに、小学校での緑化では、生物多様性の復元により生徒たちの情操教育にも貢献している。更に、潮風に強い植物種を混植しているマットは、津波の被災地域の緑化や浜辺の生態系復元が期待できる。

名称 **Jパネル**

会社名・事業所名 **協同組合レングス**

出品者
アピール

2000年、日本で初めて無垢板の素材感を生かした杉のパネルとして、「耐力壁」の大臣認定を受けた。Jパネルは合板と違い一層の厚さが12mmもあるため、無垢材の特徴である吸放湿性能はもとより蓄熱保温性といった長所を受け継いでいる。また、耐震・防火性能として国の認定を受け、住宅等の壁や床として、これ1枚で構造材を兼ねた仕上げ材として使用できる。間伐期を迎えた山の木を無駄なく使うJパネルは、耐震・防火性能を兼ね備えた

構造面材として、また家具や棚板に利用される造作材として自然素材の家づくりにぴったりのエコマテリアルである。

評価

乾燥させた杉板を繊維方向に貼り合わせ、三層構造にした多目的な杉パネルである。

日本の森を美しくすることをコンセプトに、地域の間伐材の杉を活用した日本で初めて無垢材に近い形の杉パネルとして開発された製品で、健全な森林づくりを目指した理想的な循環型林業の形成に寄与する。製品としても、

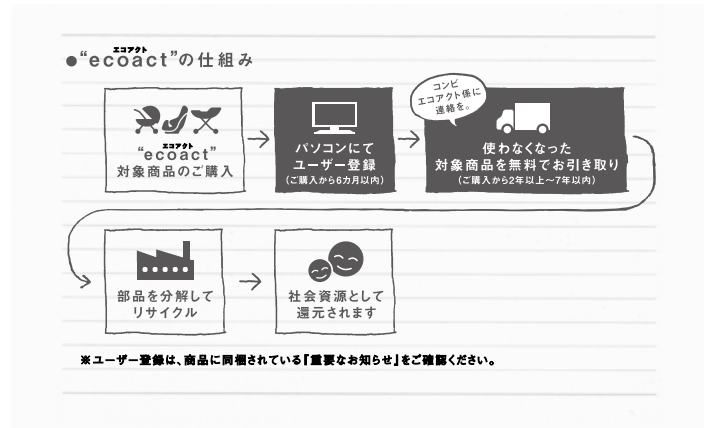


接着剤はホルムアルデヒドを含まない水性高分子であるイソシアネート系接着剤を使用しており、住宅の内壁に使用できる安全な材料で、吸放湿性能、断熱・蓄熱保温性、遮音性にも優れた性能を有している。

名称 コンビエコアクト

会社名・事業所名 コンビ株式会社

**出品者
アピール** 日本で初めて使用済み製
品（ベビーカー・チャイル
ドシート・ベビーラック）の回収サービ
スを開始。背景は、「子育ての思い出が
つまった製品をごみとして捨てるのは後
ろめたい」「廃棄に費用がかかる」とい
ったユーザーからの声。エコアクト・サ
ービスの仕組みは、ユーザーが対象製
品の購入から2年以降7年以内であれば
無償で戸別に訪問し使用済み製品を回
収。回収された製品は素材ごとに分別
され、リサイクルされる。すでに3,000
名以上のユーザー登録があり、回収が
始まっている。



評価 思い出のつまった製品を捨てるのは後
ろめたいと思いつつも、これまで自
治体の粗大ごみとして廃棄されていた使用済
みベビーカー・チャイルドシート・ベビーラ

ックを、日本で初めて回収するサービスを開
始。すでに3,000名以上のユーザー登録実
績があり、リサイクル率向上のため、使用済
み製品を手作業で分解する点などを評価した。

第1回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞 国産材合板(杉工房・松工房)	セイホク株式会社
経済産業大臣賞 ブリウス(DAA-NHW20)	トヨタ自動車株式会社
国土交通大臣賞 難燃化リサイクル吹付断熱材 セラミライトエコ セラミライトエコG	株式会社大林組
環境大臣賞 エレクトリック通勤用 Passol (SY01J)	ヤマハ発動機株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
キリン軽量大びん	キリンビール株式会社
高カロリー輸液用 総合ビタミン・糖・アミノ酸・電解質液 フルカリック	田辺製薬株式会社、テルモ株式会社
軽量電動車椅子(TAO LIGHT II)	アイシン精機株式会社
つみきハウス	株式会社つみきハウス
再生型枠「NFボード」	JFEスチール株式会社
環境配慮型照明器具 タイマーセルコン SmartLighting Eco (FSA4266F PF9)	松下電工株式会社
燃費マネージャー(FCM-2000)	株式会社テクトム
フォトロード工法(光触媒舗装)	株式会社フジタ、太平洋セメント株式会社、石原産業株式会社、フジタ道路株式会社
フローベア「魔法びん浴槽」シリーズ(KQQ1717/1721 P/X)	東陶機器株式会社
家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム エコウィル(ECOWILL)	大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社ノーリツ、株式会社長府製作所
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞10件)	

エコサービス部門	
農林水産大臣賞 菜の花プロジェクト	菜の花プロジェクトネットワーク
経済産業大臣賞 製鉄インフラを活用した廃タイヤのリサイクル	新日本製鐵株式会社、広畑製鐵所、関西タイヤリサイクル株式会社
国土交通大臣賞 モーダルシフトの推進スーパーレールカーゴ	佐川急便株式会社、日本貨物鉄道株式会社
環境大臣賞 あかり安心サービス	松下電器産業株式会社、電材営業本部カスタマークリエイトセンター
(以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
外食チェーンとのアライアンスによる統一リサイクルシステム	ワタミエコロジー株式会社
HDRIVE(日立モータドライブ省エネサービス)	株式会社日立製作所
廃蛍光灯リサイクル処理事業	株式会社神鋼環境ソリューション
エコドライブ2000システム	株式会社エコ・クリーチャーズ、エコドライブ事業部
底泥置換覆砂工法	大成建設株式会社
「環境配慮型経営促進事業」融資制度	日本政策投資銀行
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞6件)	

第2回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
経済産業大臣賞 高出力一体形自然冷媒(CO ₂) ヒートポンプ給湯機(RHK-23TBA)	日立ホーム&ライフソリューション株式会社
国土交通大臣賞 再築システムの家(URU)	積水化学工業株式会社
環境大臣賞 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「ライフエル」	東京ガス株式会社、株式会社荏原製作所、松下電器産業株式会社
(以上、関係省大臣賞3件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
家庭用ルームエアコン(MSZ-Z40RS・MSZ-ZXV40RS)	三菱電機株式会社
インクジェット複合機(PIXUS MP500)	キヤノン株式会社
サンドウェーブG	ガラスリソーシング株式会社
洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」(BW-DV9F)	日立ホーム&ライフソリューション株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
ペパスト エアヒーター(Air Top 2000S)	ペパストジャパン株式会社
エコプロワー(eb-C100-01)	株式会社メジャー化学
レスタープロテックス	株式会社アルケー企画
(以上、審査委員長特別賞3件)	
エコサービス部門	
農林水産大臣賞 茶殻リサイクルシステム	株式会社伊藤園
経済産業大臣賞 ESCO事業(日立エネルギーソリューション)	株式会社日立製作所、エネルギーソリューションサービス推進本部
国土交通大臣賞 みまもりくん	いすゞ自動車株式会社
環境大臣賞 「環境銀行」環境配慮金融商品の提供	株式会社びわこ銀行
(以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
オフセットインキ缶リサイクルシステム	「東洋MPエコサイクル(TME)システム」 東洋インキ製造株式会社
天然ガス自動車の大量導入によるグリーン配送	佐川急便株式会社
NECリフレッシュPC事業	NECパーソナルプロダクツ株式会社
業界プラットフォーム事業(共同物流)	株式会社日立物流
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
カーシェアリング・サービス	シーイーブイシェアリング株式会社
製品及び産業廃棄物の履歴管理システム	株式会社アイユー
(以上、審査委員長特別賞2件)	

第3回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
カートカン（紙製飲料缶） 森を育む紙製飲料容器普及協議会、凸版印刷株式会社	
経済産業大臣賞	
ヒートポンプななめドラム 洗濯乾燥機(NA-VR1100) 松下電器産業株式会社	
国土交通大臣賞	
高品質再生粗骨材「サイクライト」 株式会社竹中工務店	
環境大臣賞	
自己放電抑制タイプの新型ニッケル水素電池「eneloop」 三洋電機株式会社 (以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
グリーンプロマックス 旭化成パックス株式会社	
液晶テレビ(LC-52GX1W) シャープ株式会社	
マツダ MPV（DISIターボエンジンを搭載した低排出ガス・低燃費車）(DBA-LY3P) マツダ株式会社	
東洋ガラス超軽量一般びんシリーズ 東洋ガラス株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
バイオポット Z品番(biopot ZpacH・ZacH) 有限会社グリーンサポート	
デコスドライ工法(セルロースファイバー断熱材)(JISA9523) 株式会社デコス	
廃プラスチック建材「エコマウッド」デッキ(D-1) 株式会社エコマ商事	
保水機能付ベランダ用タイルデッキシステム材 「パーセアMTシリーズ100」(AP10MT01UF) 東陶マテリア株式会社 (以上、審査委員長特別賞4件)	

エコサービス部門	
農林水産大臣賞	
食品リサイクルパッケージジシステム 京王電鉄株式会社	
経済産業大臣賞	
循環型物流サービス「環境デリバリーバック」と リターナブル包装箱「イースターバックFX モデル」の提供 スターウェイ株式会社	
国土交通大臣賞	
「えころじこんぼ」(ゼロエミッションを目指した引越) 日本通運株式会社	
環境大臣賞	
大手町カフェ 三菱地所株式会社 (以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
「エコ定期預金」「リサイクル定期預金」を中心とした環境保護意識の高揚 敦賀信用金庫	
ロジスティクスソリューション 富士通株式会社	
国内初全世帯太陽光発電付き賃貸マンション「ニューガイア」 芝浦特機株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)	

第4回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
ガシャボンアースカプセル昆虫採集 (JAN 4543112-48052-1) 株式会社バンダイ	
経済産業大臣賞	
ゼログラフィー複合機&プリンター (ApeosPort-III C2200/C3300,DocuCentre-III C2200/C3300 & DocuPrint C2250) 富士ゼロックス株式会社	
国土交通大臣賞	
輻射式冷暖房装置ハイブリッドサーモシステム「ecowin」 株式会社エコファクトリー	
環境大臣賞	
鉄道用ハイブリッド車両 キハE200形(C115形主変換装置) 東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日立製作所 (以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
高効率LEDダウンライト「E-CORE[イー・コア]」(LEDD-44001W-LSIシリーズ) 東芝ライテック株式会社	
新世代環境対応 X線CT診断装置(TSX-101A)・ X線管(CSRX-9266HE-H)・CCDカメラ(VP-34019) 東芝メディカルシステムズ株式会社、東芝電子管デバイス株式会社	
外部電源式アイドリングストップ冷暖房システム 東京電力株式会社、日野自動車株式会社、株式会社デンソー、大崎電気工業株式会社	
ソーラー・LED照明灯(LN-LW3A1) シャープ株式会社	
お米から生まれた自然塗料 キヌカ 日本キヌカ株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
地中熱を利用した基礎空調換気システム(ジオパワーシステム) 株式会社ジオパワーシステム	
後付け複層ガラス(ポケットサッシ 哥6) 株式会社ビッキマン	
木製ブロック「つみっく」 株式会社つみっく (以上、審査委員長特別賞3件)	

エコサービス部門	
農林水産大臣賞	
グリーンポテト(屋上サツマイモ水気耕栽培システム) 株式会社NTTファシリティーズ	
経済産業大臣賞	
エレベーターのリニューアル 東芝エレベータ株式会社	
国土交通大臣賞	
カーウイングスナビゲーションシステム (愛車カルテ/最速ルート探索サービス) 日産自動車株式会社 (以上、関係省大臣賞3件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
トナーカートリッジリサイクルプログラム キヤノン株式会社	
中距離モダリティの開発と持続 株式会社日立物流 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞2件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
自然素材(ロハス)リフォーム、LOHAS club(顧客会員制度) 株式会社オクタ	
レンタルキッズコーナー「リトルツリー」 株式会社イケヤ (以上、審査委員長特別賞2件)	

第5回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
サンマ漁船用 省エネ集魚灯 U-BEAM. eco (TAIRYO575X2D) ウシオライティング株式会社	
国土交通大臣賞	
クリーンディーゼル乗用車「X-TRAIL20GT」(LDA-DNT31) 日産自動車株式会社	
環境大臣賞	
省電力サーバ ECO CENTER 日本電気株式会社 (以上、関係省大臣賞3件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
インクジェット複合機(PIXUS MP630) キヤノン株式会社	
小型スクリュ式蒸気発電機 Steam Star (MSEG100L, MSEG132L) 株式会社神戸製鋼所	
環境に配慮したパッケージを採用した国産ワイン (サントリーデリカメゾン デリシャス720ml/サントリー有機栽培ぶどうのおいしいワイン。720ml) サントリー株式会社	
エコどんぶり 日世株式会社	
スマートループ対応サイバーカーナビゲーションシステム(AVIC-VH9000) パイオニア株式会社	
ビジネスエコバイク(業務用電動ハイブリッド自転車)(BE-EPBS632S, BE-EPBU432S) パナソニック サイクルテック株式会社	
木質床材「Eフロアー」シリーズ パナソニック電工株式会社	
日立エネルギー回収システム(マイクロ水力発電システム) (EBS-F80H, EBS-F80M, EBS-F80L, EBS-F125) 株式会社日立産機システム (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞8件)	

審査委員長特別賞(奨励賞)

再生液晶パネル使用液晶テレビ(15インチ液晶テレビ AM-P15H1) 晩峰株式会社	
産廃紙パウダーを主原料とした紙・合成樹脂混成材料 MAPKA(マプカ) 株式会社環境経営総合研究所	
屋上自然力応用遮熱シート「冷えルーフ」 株式会社サワヤ (以上、審査委員長特別賞3件)	

エコサービス部門

農林水産大臣賞	
茶産地育成事業～お茶の樹を植えて地域に活気～ 株式会社伊藤園	
経済産業大臣賞	
エコストアシステム 三洋電機株式会社	
環境大臣賞	
遠隔省エネチューニングサービス「省エネ当番」 (ビル空調向け省エネサービス) ダイキン工業株式会社 (以上、関係省大臣賞3件)	

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

積載物の梱包用荷崩れ防止ベルトによるリース・リサイクルサービス エコビス株式会社	
カーウイングスナビゲーションシステム(情報チャンネル「あなたもエコドライブ」) 日産自動車株式会社	
農業情報管理システム「GeoMation Farm」 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞3件)	

審査委員長特別賞(奨励賞)

環境配慮型繊維染色技術:INKMAX (染色革命) 株式会社インクマックス	
「ランプtoランプ」を目指す蛍光管リサイクル事業 株式会社ジェイ・リライツ	
鶏糞焼却によるバイオマス発電 みやざきバイオマスリサイクル株式会社 (以上、審査委員長特別賞3件)	

第6回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
ベストカップルハウス 株式会社 グリーンシステム	
経済産業大臣賞	
低炭素社会の交通ネットワーク実現に貢献する、電動ハイブリッド自転車 「eneloop bike“CY-SPA226”」と「ソーラー駐輪場」の開発 三洋電機株式会社	
国土交通大臣賞	
アイドリングストップ機構「i-stop(アイ・ストップ)」 マツダ アクセラ(DBA-BLEFW)、マツダ ビアンテ(DBA-CCEFW)に搭載 マツダ株式会社	
環境大臣賞	
家庭用燃料電池「エネファーム」 東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、 東邦ガス株式会社、新日本石油株式会社、パナソニック株式会社、 東芝燃料電池システム株式会社、株式会社長府製作所、株式会社ENEOSセルテック (以上、関係省大臣賞4件)	

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

太陽光照明システム ソーラチューブ 160DS, 290DS(ブライトンアップシリーズ)/330DS, 750DS(ソーラマスターシリーズ) ウシオライティング株式会社、株式会社井之商	
「グリーンファースト」工業化住宅(戸建て住宅) 積水ハウス株式会社	
安全性と長寿命を追求した二次電池「SCiB™」 株式会社 東芝	
循環式軽量水辺緑化システム「クールバレットシステム」 東邦レオ株式会社	
デジタル補聴器 ONWA モデル KJ・LJ・MJ (WH-216K) 他17機種 パナソニック四国エレクトロニクス株式会社	
国産材(間伐材)パネル・Jパネル端材を再利用した遊具「J・ブロック」 本庄工業株式会社	
HiTES(ハイトレス)タイヤ空気圧モニタリングシステム 横浜ゴム株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞7件)	

審査委員長特別賞(奨励賞)

ヘックメック(未来の子供たちにエコ心を伝える、教える) HM01 三恵工業株式会社	
ブレーリールーフ 中国電機製造株式会社	
バイオマスマネキン 株式会社ヤマトマネキン (以上、審査委員長特別賞3件)	

エコサービス部門

農林水産大臣賞	
次世代省CO ₂ ハウス・ハイブリッドエコウインハウスの全国普及コンソーシアム 「チームエコウイン」 一級建築士事務所 有限会社ロクス	
経済産業大臣賞	
エコ バリユー バック 株式会社ブリヂストン	
環境大臣賞	
Eco バイク「旅チャリ」 株式会社JTB 首都圏、パナソニック サイクルテック株式会社 (以上、関係省大臣賞3件)	

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

カーボンオフセット導入環境配慮型周遊券「箱根旧街道・1号線きつぷ」 小田急電鉄株式会社 箱根登山鉄道株式会社、箱根登山バス株式会社	
インクカートリッジ里帰りプロジェクト ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本HP、レックスマーク	
ヨシでびわ湖を守ろう～ReEDEN プロジェクト～ 株式会社コクヨ工業滋賀	
ビジネスホテルにおける「エコひいき」(連泊のお客様が床清掃の場合ノベルティのプレゼント) および「エコ泊」(一部店舗でカーボンオフセット)の導入 株式会社スーパ－ホテル	
「リフォームローンecoプラン」～住まいのエコリフォームと生物多様性保全を応援～ 株式会社損害保険ジャパン、株式会社損害保険ジャパン・クレジット	
使用済み竹割箸の竹炭リサイクル パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニトピアささやま (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞6件)	

審査委員長特別賞(奨励賞)

エネルギー・マネジメント・ソリューション「見えタロー®」 株式会社環境経営戦略総研	
期限切れ等で廃棄される未開封飲料のリサイクル処理サービス 株式会社リヴァックス (以上、審査委員長特別賞2件)	

第7回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
間伐材防音壁「安ら木Ⅱ(やすらぎⅡ)」 篠田株式会社、岐阜県森林組合連合会、本庄工業株式会社	
経済産業大臣賞	
環境配慮型エスカレーターとリニューアル(VXシリーズ、VXSシリーズ) 株式会社 日立製作所 都市開発システム社、株式会社 日立ビルシステム	
国土交通大臣賞	
日立バラスト水浄化システム ClearBallast 株式会社 日立プラントテクノロジー	
環境大臣賞	
すすぎ1回で 節水・節電、時間短縮「アタックNeo」 花王株式会社 (以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO」 株式会社ガスター、リンナイ株式会社、三協立山アルミ株式会社、 株式会社ノーリツ、高木産業株式会社、株式会社長府製作所 大阪ガス株式会社、東邦ガス株式会社東京ガス株式会社	
超音波診断システム Aplio MX (SSA-780A) 東芝メディカルシステムズ株式会社	
ベレタイザー TS シリーズ(TS-550, TS-250, TS-150, TS-55, TS-35 L) 株式会社 土佐テック	
ディーゼルエンジンハイブリッドフォークリフト「ジェネオ ハイブリッド」 株式会社 豊田自動織機 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
midorie(ミドリエ) (壁面緑化システム[花のかべ]、屋上緑化システム[緑の屋根]、 ミドリエデザインシリーズ) サントリーミドリエ株式会社	
省燃費型・船底防汚塗料「LF-Sea (エルエフシー)」シリーズ 日本ペイントマリン株式会社	
F-rents(フレンツ)[レンタサイクルコミュニティシステム] 株式会社フルタイムシステム (以上、審査委員長特別賞3件)	
エコサービス部門	
農林水産大臣賞	
循環(リサイクル)、エネルギー消費・使用量の削減 生活協同組合ちばコープ、生活協同組合さいたまコープ、生活協同組合コープとうきょう、 とちぎコープ生活協同組合、生活協同組合コープぐんま、いばらきコープ生活協同組合 (生活協同組合連合会コープネット事業連合加盟のうち6団体共同)	
経済産業大臣賞	
川崎火力からの蒸気配管大規模連係による蒸気の販売供給 川崎スチームネット株式会社、東京電力株式会社	
国土交通大臣賞	
「バルクコンテナ」一貫物流システム センコー株式会社	
環境大臣賞	
SMB C環境配慮評価融資／私募債 株式会社三井住友銀行 (以上、関係省大臣賞4件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
物流パフォーマンス(CO ₂)の見える化に向けた情報提供 佐川急便株式会社	
間伐材利用促進と植林代行システムによるCO ₂ 削減 株式会社ゼストシステム (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞2件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
風の解析とデザイン(住宅の風通しの解析と計画) 株式会社ユリカデザイン ウィンドラボ (以上、審査委員長特別賞1件)	

第8回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門	
農林水産大臣賞	
竹紙(たけがみ) 中越パルプ工業株式会社	
経済産業大臣賞	
水道直結型温水器「サントップ」 ST-195/24F、ST-195/24S 株式会社寺田鉄工所	
国土交通大臣賞	
日産リーフ ニッサン ZAA-ZE0 日産自動車株式会社	
環境大臣賞	
エコシングル水栓 TKHG31PE TOTO株式会社 (以上、関係省大臣賞4件)	
節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)	
日立超省エネ変圧器 Super アモルファスXSH シリーズ 株式会社 日立産機システム (以上、節電大賞1件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
プロジェクター液晶プロジェクター NP-M300X、NP-M260X NECディスプレイソリューションズ株式会社	
樽生ビール品質管理システム「サッポロ セパレ システム」 セパレサーバー サッポロビール株式会社	
「地産地消」と「循環型社会の構築」に寄与するライスインキ TOYO KING NEX NV100 ライス 東洋インキ株式会社	
POTENZA S001 RFT 株式会社ブリヂストン	
マツダデミオ(新開発直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G」搭載) DBA-DEJFS マツダ株式会社 (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)	
ベレット・ヒーティングシステム 木燃 MN-I2F 株式会社 相愛	
次世代 人検知センサを利用した照明・空調の節電・省エネ自動環境制御 システム「T-Zone Saver」 大成建設株式会社／東光電気株式会社 (以上、節電優秀賞2件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
チガヤマット(張芝タイプ) ICM エスベックミック株式会社	
木質加熱アスファルト舗装(ハーモニーロードウッド) 田中建材株式会社	
ホタテ貝殻を利用したダストレスチョーク 日本理化学工業株式会社／地方独立行政法人北海道立総合研究機構 工業試験場 (以上、審査委員長特別賞3件)	
エコサービス部門	
経済産業大臣賞	
ビル用マルチエアコン向け省エネサービス VRV・エネ・TUNING ダイキン工業株式会社	
国土交通大臣賞	
ノンプレーム工法 日鐵住金建材株式会社	
環境大臣賞	
エネルックPLUS 大阪ガス株式会社 (以上、関係省大臣賞3件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)	
自動車保険Web約款「SAVE JAPANプロジェクト」 ～Web約款で希少生物種生息地の環境保全活動を支援～ 株式会社 損害保険ジャパン (以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞1件)	
エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)	
商品ライフサイクルトータルでの環境負荷削減を実現する提案活動とサービス提供 ～GREEN NAVIとECO情報プラグイン～ キャンノン株式会社／キャンノンマーケティングジャパン株式会社	
使用電力見える化クラウドサービス 株式会社東芝／東芝ソリューション株式会社 (以上、節電優秀賞2件)	
審査委員長特別賞(奨励賞)	
善循環型食品リサイクルシステム アースサポート株式会社	
未利用魚の循環型ビジネスモデル(二次三次利活用へ向けて) 橋水産株式会社 (以上、審査委員長特別賞2件)	

第9回エコプロダクツ大賞 受賞一覧

エコプロダクツ部門

農林水産大臣賞

大断面耐火集成材 燃エンウッド 株式会社竹中工務店

経済産業大臣賞

家庭用固体酸化物形燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム type S」
大阪ガス株式会社 アイシン精機株式会社 株式会社長府製作所

国土交通大臣賞

家まると断熱+エコナビ搭載換気システム～ビュアテック～（パナホーム エコアイディアの家）
パナホーム株式会社

環境大臣賞

ちよいソクラスク 山崎製パン株式会社
(以上、関係省大臣賞4件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 シリーズ
富士ゼロックス株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

低被ばく化技術(AIDR 3D)搭載X線CT診断装置 Alexion™ TSX-032A 他9機種
東芝メディカルシステムズ株式会社

エアインシャワー 代表品番 TMGG40EC (全47品番)
TOTO株式会社

2MWダウンウインド型風力発電システム HTW (Hitachi Wind Turbine) 20-80
株式会社日立製作所 電力システム社

低燃費タイヤ「ECOPIA EP001S」 株式会社ブリヂストン
もろみベレット 明治飼糧株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞5件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

太陽光発電および蓄電池を備えた建物における直流配電網構築システム「スマートDCオフィス」 大成建設株式会社、株式会社東芝
冷凍食品「自然解凍でおいしい!」シリーズ 日本水産株式会社
(以上、節電優秀賞2件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

スーパー白洲そとん壁W、薩摩中霧島壁、中霧島壁ライト、白洲リフォーム
高千穂シラス株式会社
テクノキューブ 株式会社テクノライフ
(以上、審査委員長特別賞2件)

エコサービス部門

農林水産大臣賞

貝殻魚礁による里海づくりシステムの普及 全国漁業協同組合連合会

国土交通大臣賞

夢発電システム 株式会社一条工務店

環境大臣賞

自然の風を活かして暮らせる夏の節電「通風・創風 設計サポート」サービス
株式会社LIXIL
(以上、関係省大臣賞3件)

節電大賞(エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞)

スマート街路照明サービス 伊藤忠商事株式会社
(以上、節電大賞1件)

エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞(優秀賞)

損保ジャパン・グリーン・オープン(愛称:ぶなの森)
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社
新世代 ECHONET Lite 対応クラウド型 HEMS システム
東芝ライテック株式会社
食の循環 パナソニック株式会社 デバイス社 京丹後市役所 アミタ株式会社
Fujitsu Global Cloud Platform 「FGCP/S5」 富士通株式会社
(以上、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞4件)

エコプロダクツ大賞推進協議会特別賞(節電優秀賞)

スマートコモンシティ 積水ハウス株式会社
(以上、節電優秀賞1件)

審査委員長特別賞(奨励賞)

都市鉱山の効率的な発掘 木村メタル産業株式会社
間伐材等地域資源を有効利用した自然復元工法 有限会社クスベ産業
安心のデータ消去でレア金属回収に繋ぐ事業 シービーセンター株式会社
(以上、審査委員長特別賞3件)



エコプロダクツ大賞推進協議会に対するお問い合わせは

エコプロダクツ大賞推進協議会事務局
一般財団法人地球・人間環境フォーラム内
〒111-0051 東京都台東区蔵前3-17-3
蔵前インテリジェントビル8階
TEL. 03-5825-9735 FAX. 03-5825-9737
E-Mail : ecoproducts@gef.or.jp

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。